

既婚男性に聞いた！

**男性が嫌がるコミュニケーション 3位「前の話を持ち出す」、
2位「察することを要求する」、1位は「〇〇」！****今妻と結婚を決めた理由「一緒にいて居心地がよい」が5割超
『決めるだけ。』の著者が教える「結婚になかなか辿り着けない女性の特徴」**

脳科学と心理学を掛け合わせた「脳心理学」を使って、女を楽しみながら愛もお金も仕事も手に入れる方法を綴った『決めるだけ。「お金」も「恋」も勝手にうまくいく、人生を変えるレッスン』の著者で、女性のライフスタイル支援を行うライフコンサルタント・奥井 まゆは、20歳以上40歳未満の既婚男性全国999人を対象に、「元カノと今妻」について調査いたしました。



【調査概要】

調査期間：2022年12月19日

調査手法：インターネット調査

調査対象：20歳以上40歳未満の既婚男性全国

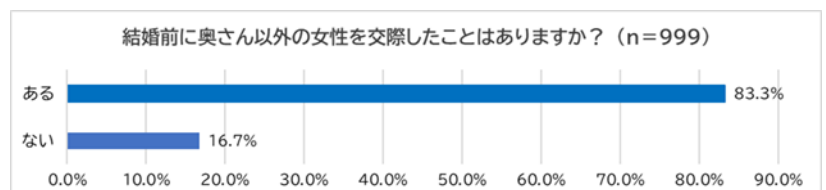
有効回答者数：999人

調査機関：Freeasy

※本リリースの調査結果をご利用いただく際は、「一般社団法人 日本リレーションシップ協会 調べ」とご明記ください。

【調査結果】

「結婚前に奥さん以外の女性と交際したことはあるか？」と尋ねたところ、「ある」（83.3%）、「ない」（16.7%）となりました。

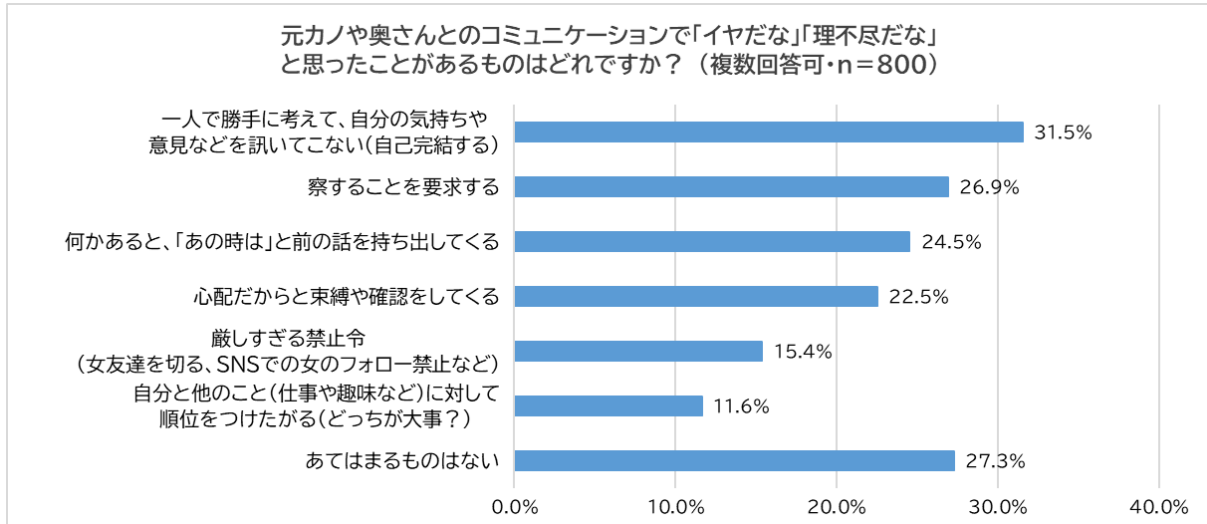


本リリースに関するお問い合わせ先

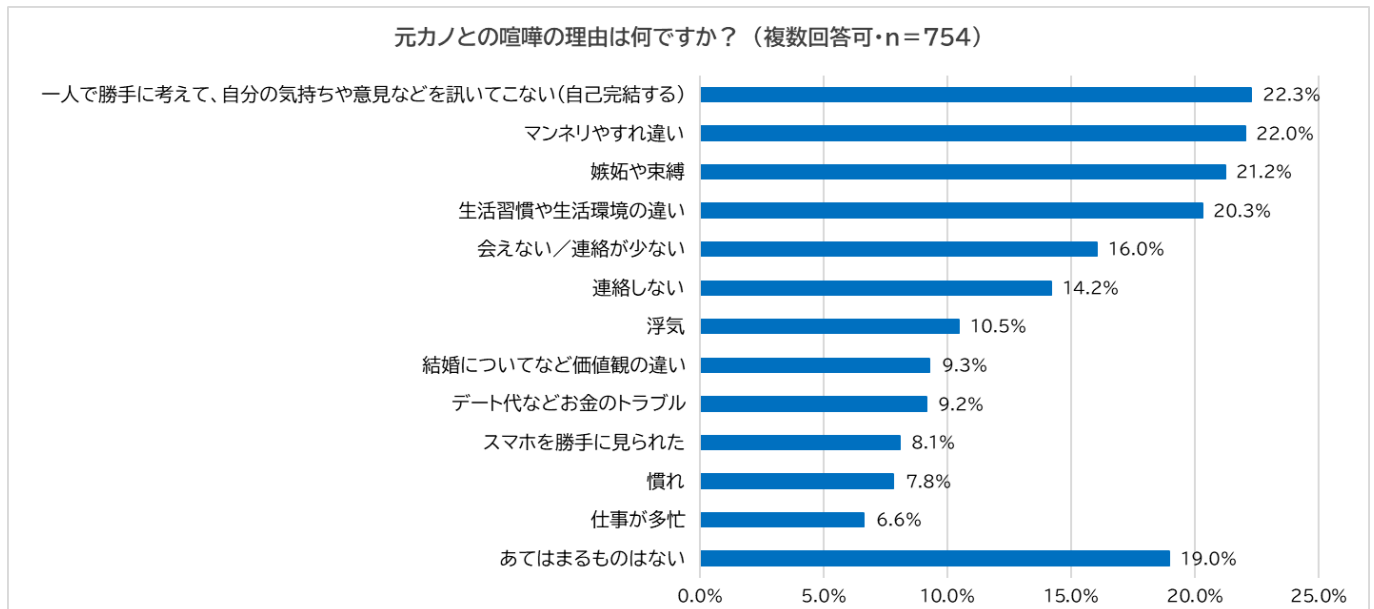
一般社団法人 日本リレーションシップ協会 担当：丸山

E-mail：info@j-relationship.com TEL：03-6691-0224

「元カノや奥さんとのコミュニケーションで『イヤだな』『理不尽だな』と思ったことはあるか？」と尋ね、「ある」と回答した800人に「それはどのようなコミュニケーションだったのか？」と尋ねました。「一人で勝手に考えて、自分の気持ちや意見などを訊いてこない（自己完結する）」（31.5%）が最多となり、「察することを要求する」（26.9%）、「何かあると『あの時は』と前の話を持ち出してくる」（24.5%）、「心配だからと束縛や確認をしてくる」（22.5%）と続きました。



今度は、「結婚前に奥さん以外の女性と交際したことがある」と回答した832人に「元カノと喧嘩したことはあるか？」と尋ね、「ある」と回答した754人に「喧嘩の理由」を尋ねました。こちらでも最多は「一人で勝手に考えて、自分の気持ちや意見などを訊いてこない（自己完結する）」（22.3%）となり、以下「マンネリやすれ違い」（22.0%）、「嫉妬や束縛」（21.2%）、「生活習慣や生活環境の違い」（20.3%）となりました。

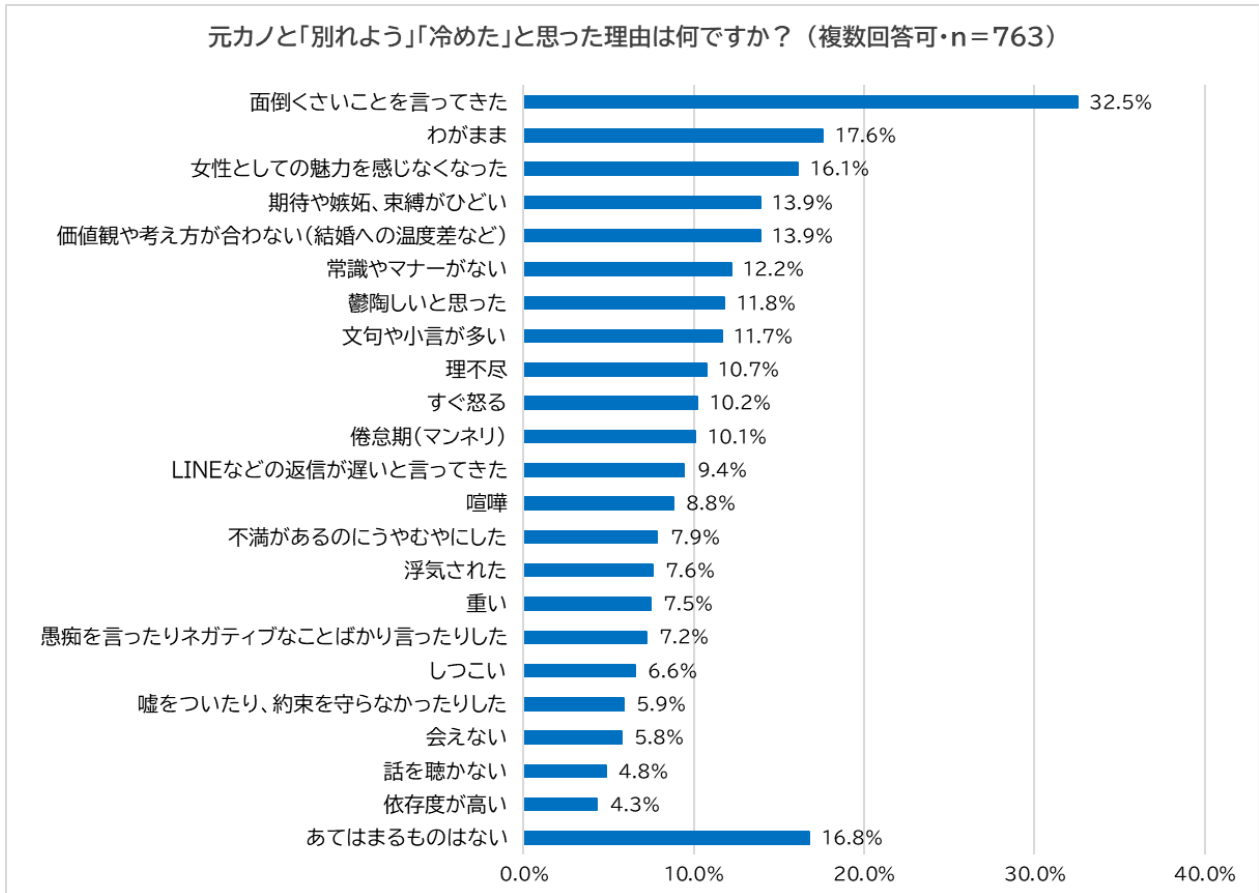


続いて、「元カノと『別れよう』『冷めた』と思った瞬間はあるか？」と尋ね、「ある」と回答した763人に「そう思った理由」を尋ねたところ、他の理由を大きく引き離し「面倒くさいことを言ってきた」（32.5%）が最多となりました。

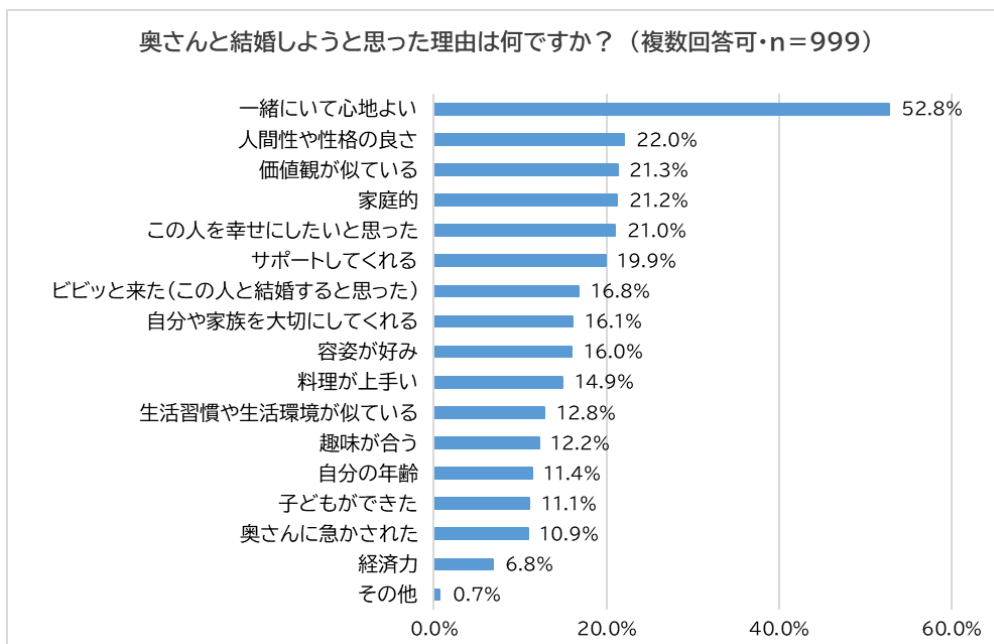
本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本レレーションシップ協会 担当：丸山

E-mail : info@j-relationship.com TEL : 03-6691-0224



最後に、「奥さんと結婚しようと思った理由」を尋ねたところ、半数以上（52.8%）が「一緒にいて心地よい」と回答。以下「人間性や性格の良さ」（22.0%）、「価値観が似ている」（21.3%）、「家庭的」（21.2%）、「この人を幸せにしたいと思った」（21.0%）となり、「経済力」（6.8%）も僅かながらいました。



本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本レレーションシップ協会 担当：丸山

E-mail : info@j-relationship.com TEL : 03-6691-0224

【ライフコンサルタント 奥井 まゆが「結婚になかなか辿り着けない女性の特徴」をアドバイス！】

・想像力を使いすぎて空回り！

今回の調査結果で、男性が嫌がるコミュニケーションと喧嘩の理由で最も多かった回答は「一人で勝手に考えて、自分の気持ちや意見などを訊いてこない（自己完結する）」でした。これは、女性特有の気づいてもらえることを期待している心理が働き、「言えない」「訊けない」という心理の底にある共感力や想像力をマイナスの方向に使ってしまっている女性が多いことを示していると思います。

婚活中の女性の相談に乗っていると、時々「それは事実ですか？」と尋ねることがあります。なぜなら、事実かどうかわからないことを女性の行きすぎた妄想により悲観的にしてしまい、それに対してどうしたらよいのかと相談してくることが往々にあるからです。

以前、「彼から土日にデートができなくなると言われた。これは、自分の優先順位が下がったってことですよね？どうすれば、またデートできるようになりますか？」という相談に乗りました。詳しく聞いてみると、起業したいと思っている彼が、その資金をつくるため、土日に副業するということでした。しかし、彼女は「自分の優先順位が下がった」ことに注目し勝手にショックを受け、彼から理由を聞く前に自己判断したことで不安になり、暴走してしまいそうになっていただけでした。

まさにこれは、勝手に解釈して（自己完結して）、一方的に自爆する。元カノと「別れよう」「冷めた」と思った理由の1位「面倒くさいことをやってきた」にも繋がります。

婚活女性は、恋愛で傷ついてきた人も多いです。自己完結は、もう傷つきたくないが故の自己防衛なのですが、これでは望んでいる結婚がどんどん遠ざかってしまいます。

女性は、男性が口から発する言葉をそのままストレートに受け取ってしまいがちなので、どういった意図で言っているのかきちんと確認し、その言葉の真意を理解するようにしましょう。

・自分の優先順位を明確にすることで、彼とコミュニケーションを取れるようにする

人には大きく分けて、「家族」「仕事」「人間関係」「お金」「健康」「知性」「スピリチュアル」「性」の8つのカテゴリーの価値観があります。私は、これらの8つのカテゴリーごとに、恋愛・結婚生活する上での自分の望み（優先順位）はどうなのかを明確にして序列を付け、相手にきちんと伝わるようにコミュニケーションを取れる（話すことができる）ようにしていくことを推奨しています。

私の経験からですが、女性の中には、彼と何を話したらいいのかわからないという人がとても多いです。きちんとコミュニケーションを取れるようになると、勝手な自己完結で自爆することもなくなりますし、結婚してからの生活にも活用できます。ストーリーを組みやすいカテゴリーもののから台本を作って、日頃から話す習慣を作ることをオススメします。

【ライフコンサルタント 奥井 まゆプロフィール】

1986年、神奈川県生まれ。

一般社団法人日本レレーションシップ協会 代表コンサルタント。

また2社経営の女性経営者。メンタルコーチ、ビジネスコンサルタント、四柱推命鑑定士など複数の顔を持つ。

30歳目前での大恋愛をきっかけに「自分らしい生き方」を探すうち、脳心理学に出会い人生が一変。仕事、恋愛、金銭面の自由を得ることができるようになる。

また、年商数百億円の会社社長、資産家などとも人脈を築き、お金持ちの思考法を学ぶ。

現在は、月4日の稼働で年商1億円超を叶える。2020年に結婚したパートナーも独立7年目以上、2社経営をしており、「時間と場所の自由を得て、我慢しないでやりたいことをする」ライフスタイルを構築しているノマド経営者夫婦。「もっとオンナを愉しむ」「あげ妻を増やす」をコンセプトにビジネスと展開中。

2022年3月には、脳科学と心理学を掛け合わせた「脳心理学」を使って、女を



本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本レレーションシップ協会 担当：丸山

E-mail : info@j-relationship.com TEL : 03-6691-0224

NEWS RELEASE



楽しみながら愛もお金も仕事も手に入れる方法を綴った初の著書『決めるだけ。「お金」も「恋」も勝手にうまくいく、人生を変えるレッスン』（KADOKAWA）を出版。

公式サイト：<https://mayuokui.com>

ブログ：<https://ameblo.jp/hanamizuki5555/>

Facebook：<https://www.facebook.com/hanamizuki5555>

Instagram：<https://www.instagram.com/mayu.okui/>

【協会概要】

協会名：一般社団法人 日本リレーションシップ協会

所在地：東京都中央区銀座1-22-11 大竹ビジデンス 2階

代表者：大瀬 真由美

設立：2021年1月22日

事業内容：人材育成を目的としたコンサルテーション

研修・講演・セミナーの企画・運営

四柱推命など統計学を基にした鑑定

本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本リレーションシップ協会 担当：丸山

E-mail：info@j-relationship.com TEL：03-6691-0224